

Mag-c. 古典的ケース

Mrs. C.の赤ちゃんは、1871 年9月5日、6ヵ月だった。

4週間下痢だった。

排泄物は時々緑色で、時々白い多肉質の破片があり、酸っぱい臭いがして、不快な臭いで、時々腐敗臭を放つ。

便通の前に泣く。

夜に悪化。

ミルクや粘液を吐き、下痢を伴う。

便通と共に腸内のガスがたくさん出るが、しばしば便通を伴わず、また便通の前の場合もある。

夜中汗をかく。

Mag-c.200c.を1日3服。9月19日。

前回の来診以来、すぐに病気はなくなり、下痢は次第に治まった。

「非常に奇跡的」と母親は言っている。